

発行元：(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会 事務局 TEL：042-707-1136 FAX：042-707-1217  
E-mail：[Sagamihara-kourekio@peace.ocn.ne.jp](mailto:Sagamihara-kourekio@peace.ocn.ne.jp) HP：<http://sagamihara-kourekio.org/>

## ●相模原市高齢協の活動指針

本会は、高齢者福祉施設が使命とする高齢者の支援等を基本に、地域福祉の推進とサービスの質的向上を図るため、会員施設及び事業所相互の連携と共通課題について研究協議を行い、相模原市内に所在する施設及び事業所の健全な発展と高齢者福祉の推進に寄与することを目的としています。

## ●「さがみはら介護の日大会」開催

11月12日、第12回「さがみはら介護の日大会」が開催されました。内容は以下の通りです。

### □シンポジウム「最期まで生きるを支える」

◆座長：広瀬病院 理事長 廣瀬憲一先生

### ◆シンポジスト

濱田要一氏（シルバータウン相模原特別養護老人ホーム）

笠尾美枝氏（介護老人保健施設 のどか）

河手昇氏（東林間シニアクラブ 居宅介護支援センター）

および、発表例にかかわる当事者のご家族

### □研究発表・「介護に笑顔はよく似合う写真展」表彰式

### □介護・福祉相談 ・福祉機器／介護食品展示

シンポジウムは「看取り」がテーマ。介護の現場や在宅で最期を迎えるまでのプロセスを、実際の事例を通して考える場となりました。高齢化が急激に進む中、専門職や家族が、迷いや葛藤を抱えながらも互いに信頼関係を築き、当事者を支えることの意義を改めて認識する機会でした。

研究発表では以下3グループによる意欲的な取り組みが紹介されました。

「施設からの旅立ち」～その人らしく送り出すこと～

特別養護老人ホーム 縁JOY

「モチベーションの低い利用者に対する支援」～もう一度、息子とキャッチボールをしたい～

介護老人保健施設 グリーンヒルズ相模原

「緑が高齢者に与える効果・影響」～園芸療法（グリーンセラピー）の効果について～

アルファ医療福祉専門学校

写真展のコンテストでは、入選9作品の内、3作品が優秀賞、最優秀賞に選ばれました。



「サンタさん大～いすき～い♥」  
【優秀賞】  
介護老人保健施設 のどか



「ウフフ」【優秀賞】  
特別養護老人ホーム 柴胡苑



「アニマルスマイル」【最優秀賞】  
介護老人保健施設 青葉の郷

## ● 地区合同職員親睦会（リアル宝探し）開催

10月25日、高齢協会員の施設職員の親睦をはかる目的で「リアル宝探し」イベントが、横浜みなとみらい地区にて開催されました。参加者は44名。当日は折からの大雨となり、急遽会場を屋内に変更する運びでしたが、大盛り上がりとなりました。

「リアル宝探し」は、グループに別れて「宝物」探しを競い合うゲーム。今年で4回目となり、常連メンバーもいましたが「毎回、新たな発見があって楽しい」との声が聞かれています。終了後は、横浜中華街の料理店でバイキングを楽しむ中で、結果発表と表彰式が行われました。

皆で結束しつつ、知恵を出し合って協力するチームワークの大切さや醍醐味を味わいました。

同じ市内に在勤しながら、普段は顔を合わすことも少ない職員同士が交流を図る絶好の機会。

生憎の荒天にもかかわらず、お互いに親交を深めながら、楽しいひとときを共にしました。



## ● 「介護ウィーク」開催

10月28日（月）から11月3日（日）の一週間、会員施設が、地域を取り巻く福祉課題の検討や地域貢献活動を推進するための取組み「介護ウィーク」が開催されました。今年は19の事業所が参加し、それぞれにさまざまな意匠を凝らし、イベントや講演会などを催しました。参加した事業所は以下の通りです。（順不同）

「みたけ」「中の郷」「さがみ湖桂寿苑」「青根苑」「柴胡苑」  
「縁JOY」「東橋本ひまわりホーム」「コスモスセンター」  
「ボーナビール二本松ケアセンター」「マナーハウス麻溝台」  
「東林間シニアクラブ」「モモ」「ケアステーションナナ」  
「コミュニティホームピノ」「シルバータウン相模原」  
「古淵デイサービスセンター」「東淵野辺デイサービスセンター」



## ● 合同施設長会 開催

11月6日、相模原市環境情報センターにて合同施設長会が開催されました。

清菊園施設長交代挨拶、「要望書」提出、「文書管理規定」、「調査研究部会」、理事改選について、「介護の日大会」、「地区合同親睦会」、「介護ウィーク」、「関東ブロック老人福祉研究総会」参加、「台風19号被災情報」報告、賛助会員入会（伊藤典範、板橋）、「福祉避難所運営ゲーム」開催、その他、関係各担当者からの連絡等がなされました。

本会終了後は、事業単位ごとの「部会」が持たれました。



## ● 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会「老人福祉施設研究総会」参加レポート

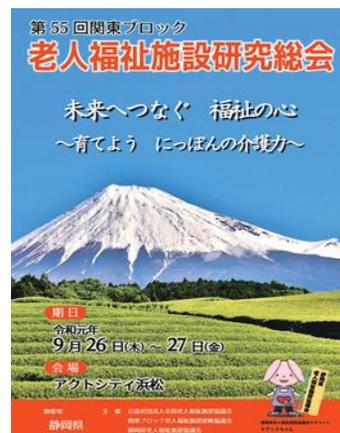
9月26日～27日、第55回 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会（関ブロ）の「老人福祉施設研究総会」が静岡県浜松市のアクトシティ浜松にて開催されました。

全国老協 平石 朗 会長の基調報告、元読売テレビ解説委員長 辛抱 治郎 氏の記念講演をはじめ、6つの分科会に分かれて、総勢42組の研究発表が持たれました。

同会場では福祉機器の展示会も催され、34の企業による出展が行われました。

相模原高齢協からは、大久保会長、萩原監事をはじめ7名が参加しています。

今回の開催地は神奈川県です。令和2年6月30日～7月1日の2日間に渡って、パシフィコ横浜にて「かながわ高齢者福祉研究大会」と併せての開催予定です。



## ● 相模原市「地域医療連携業務関係職員合同会議」開催

10月25日、相模原市「地域医療連携業務関係職員合同会議」が、相模原市立男女共同参画推進センターにて開催されました。

今回は「施設救急に一步踏み込む」というテーマで、病院、介護施設、それぞれ異なる立場から具体的な事例を基に提言がなされ、引き続いて、活発な意見交換が行われました。高齢協からは特養部会代表、「ケアプラザさがみはら」の施設長 大塚氏による発表もあり、好評を得ました。プログラムの詳細は以下の通りです。

### ◆ 第一部 基調講演

「高齢者施設に求めるもの」

講師 特別養護老人ホームケアプラザさがみはら 施設長 大塚 小百合 氏

「往診医と嘱託医の連携の観点から」

講師 医療法人社団守成会 広瀬病院 病院長 廣瀬 憲一 氏

### ◆ 第二部 意見交換会

コーディネーター 相模原市病院協会理事  
医療連携推進委員会委員長 廣瀬 憲一 氏

## ● 管理者研修「働き方改革関連法の全容と労務管理」開催

10月4日、管理者研修「働き方改革関連法の全容と労務管理」を、松田綜合法律事務所、弁護士・社会保険労務士の 荒川 仁雄 先生を講師に迎えて開催しました。

今年度から一部すでに施行されている「働き方改革関連法」。人事・労務管理に関する重要かつ大幅な法改正に絡んで、万全の注意が必要な事項が増えている実情があります。

今回の研修では、社会福祉法人で特に注意すべき点に絞って、提出する法令様式に沿った形で、雛形や記入例を参考にしながら、実務対応の解説を行う研修となりました。具体的な書面の記入例を通して実践的なノウハウを得る格好の機会となりました。



## ●専門講座「実践から考える!! 身体拘束と高齢者虐待」開催

10月19日、主として介護の現場に携わる職員を対象にした「**実践から考える!! 身体拘束と高齢者虐待**」と題した専門講座を「**横須賀老人ホーム**」所長、**佐野彦彦先生**を講師に迎えて開催しました。

人権擁護の観点から、倫理に照らした原則を再確認しつつ「身体拘束」や「高齢者虐待」とは何かを改めてとらえ直し、介護の現場でいかに「尊厳のある適切なケア」を実践してゆけば良いかを考える有意義な内容でした。



## ●専門講座「安楽な移動技術（キネステティックの技術）Ⅰ」開催

10月31日、主として介護の現場に携わる職員を対象にした「**安楽な移動技術（キネステティックの技術）Ⅰ**」と題した専門講座を **和泉短期大学 特任講師**

**下西潤子先生**を講師に迎えて開催しました。

生まれながら備わっている「身体を動かす感覚」を利用した介助技術「キネステティック」。この技術を使うことで、無理なく、潜在的な能力を活性化することができるので、介助者はもちろん、介助されている人の負担も減らすことができます。

この研修では、介護現場での困り事を「キネステティック理論」を用いて、実際に動きながら解決してゆく方法を学びました。



## ●公開講座「福祉避難所運営ゲーム（HUG）」開催

11月22日、公開講座「**福祉避難所運営ゲーム（HUG）**」を「**ななかまど**」施設長、**相模原市防災マイスターの田村政喜先生**を講師に迎えて開催しました。

大規模な激甚災害が頻発する昨今、施設を運営する社会福祉法人には「**福祉避難所**」の開設が期待されています。

本研修は、架空の地域で避難所運営を任されたという想定の下で、避難者の状況や要望を考慮しながら、迅速かつ適切に対応する術を、グループに別れてゲーム形式で学ぶというものです。実際に起こり得る状況の理解と適切な避難所運営のあり方を体験する有意義なワークショップでした。

今般、台風や豪雨による激甚な災害が頻発している実情を見ても、日頃からこうした机上上演習・訓練を行っておく意義、必要性が強く求められます。今後も定期的な開催を検討しておりますので、奮ってご参加いただきたくお願いいたします。



## ●「令和元年台風第19号の義援金」寄付実施のご報告

関東甲信越、東北地方を中心とした広域で甚大な被害を出した「令和元年台風第19号」の被災各地では、地域の介護・福祉拠点を担う高齢者福祉施設でも複数被害を受けており、今後の復旧・復興に向けて長期的な支援が必要な状況にあります。

全国老人福祉施設協議会（全国老施協）は、こうした施設・事業所の活動支援を目的として義援金を募っています。

こうした呼びかけに応え、微力ながら支援に協力したいとの思いから、当会でも総額20万円を11月25日付で寄付をさせていただきました

たくさんの支援が少しでも被災地のみなさまのお役に立つことを願うとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りします。



### 【賛助会員】

愛知金物建材 株式会社	株式会社 コンティ
株式会社 ウェブトラスト	守屋綜合法律事務所
株式会社 タマパーク	千寿産業 株式会社
Office CPSR（臨床心理士・ 社会保険労務士事務所）	株式会社 ノノ輪建設
株式会社 みらい	株式会社 ケイ・アース
株式会社 ディフェンス	シープラス 株式会社
アライブかながわ	株式会社 中島建設
住宅型有料老人ホーム 田名新宿住宅	住宅型有料老人ホーム 勢水
日興テクノス 株式会社	住宅型有料老人ホーム あんず
株式会社 きらぼし銀行 相模原法人営業部	株式会社 永田屋
株式会社 ナリコマエンタープライズ	日本ゼネラルフード 株式会社
相模原商事 株式会社	株式会社 IDO
ケアミックス 株式会社	株式会社 太陽住建
福永隆太(株式会社タウンニュース社)	株式会社 リンク・アップ
公益財団法人 相模原市勤労者 福祉サービスセンター	株式会社 シマソービ
リンデンB・I 町田・相模原	神奈川ロイヤル 株式会社
株式会社 板橋	株式会社 京和
	株式会社 伊藤典範
	敬称略/加入順

### ●編集後記

広報紙第19号をお届けします。今後もより一層、内容を充実させてゆく所存です。施設や職員の紹介やイベント案内など、どんなものでも結構です。ご協力お願いいたします。

連絡先は、相模原市高齢協 事務局（広報誌担当）まで

〒252-0236 相模原市中央区富士見6-1-20（あじさい会館内）

TEL：042-707-1136 FAX：042-707-1217 E-mail：[Sagamihara-koureikyo@peace.ocn.ne.jp](mailto:Sagamihara-koureikyo@peace.ocn.ne.jp)